

相談内容概況

山形いのちの電話では、現在78名の相談員が午後1時から10時まで3交代で電話を受けております。2017年度に受け付けた電話相談は6,532件、内訳としては男性3,796件・女性2,736件、40代までは男性からが多く、女性は50代以上が多くなります。相談内容は、「精神」「人生」「家族」に関する相談が多くなっています。

毎月10日の自殺予防フリーダイヤルは、深夜も電話を受けており、年間292件の受信がありました。そのうち80件、27.4%が自殺傾向のある電話です。通常電話でも7.9%が自殺傾向の電話があります。しかし、実行中や危険な状態での電話は少なく、常に死にたいと考えている人たちや積極的に生きる意味を見失っている方たちが多い印象があります。

いのちの電話で自殺念慮と分類された中には、うつ病等精神疾患に起因する人たちだけでなく、生き方・生きがい・孤独等「人生」とひとくくりにできないほどの心の^{うめ}呻き、言葉にすることも出来ない深みにある人たちがいます。何日も誰とも話していないという人もいます。

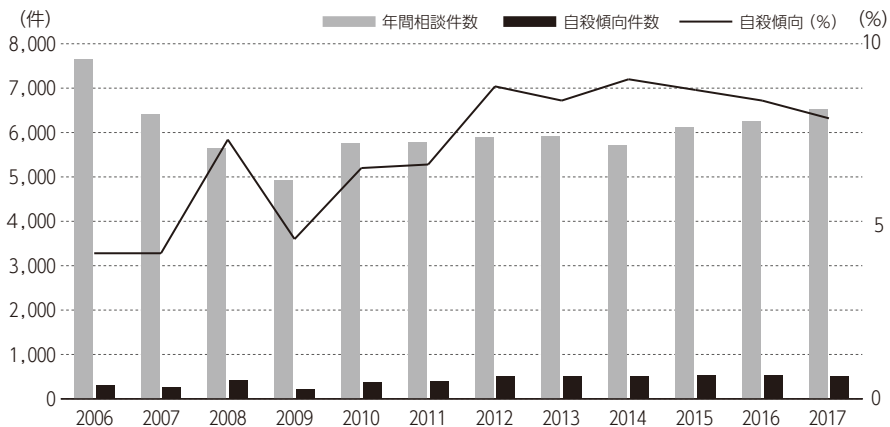
昨年の社会を驚愕させた座間市の事件で、生きづらさを抱えながら孤独と戦っている人たちが少なからず存在することを思い知らされました。

「誰もわかってくれない」との訴えに心を傾け語る想いを受け止めながら、心を整理していけるように寄り添っていただきたいと思います。

東日本大震災から7年。福島いのちの電話を中心に「ふくしま寄り添いフリーダイヤル」が月命日の11日、午前10時から午後10時まで開設されています。山形いのちの電話でも3月～5月担当しました。震災直後の3年間も震災ダイヤル（現在は終了）に参加しましたが、月日が経ったからこそ心のバランスを崩す人も多いかもしれません。隣県の山形で電話を受ける意義も大きいのではないかと考えております。

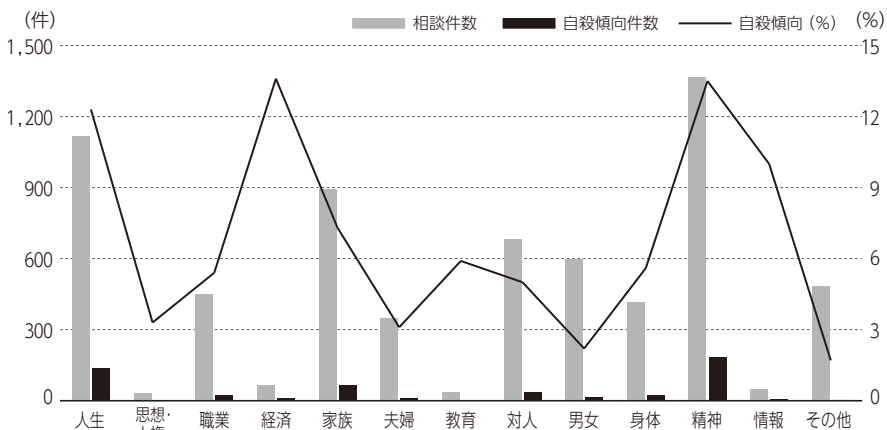
山形いのちの電話の相談員は一本でも多くの電話相談を受けたいと頑張っております。これからも温かいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

① 年間相談件数と自殺傾向件数の推移



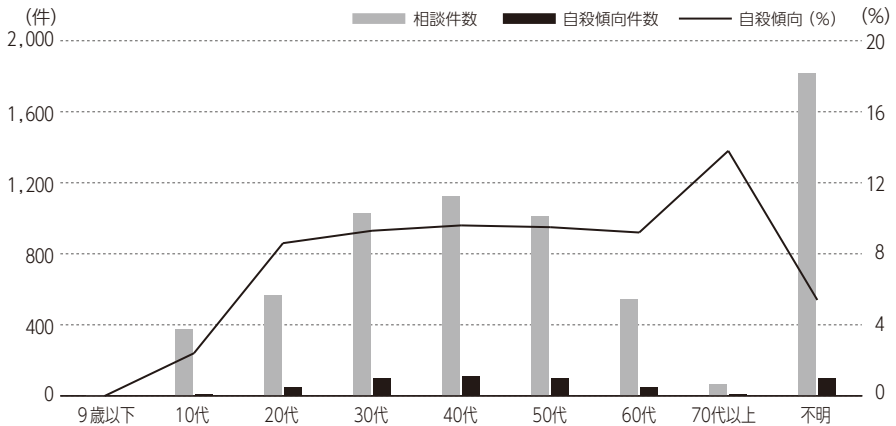
年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
年間相談件数	7,651	6,419	5,636	4,930	5,754	5,775	5,883	5,925	5,713	6,124	6,252	6,532
自殺傾向件数	310	264	409	224	372	384	518	496	515	533	525	516
自殺傾向(%)	4.1	4.1	7.3	4.5	6.5	6.6	8.8	8.4	9.0	8.7	8.4	7.9

② 内容別相談件数と自殺傾向件数



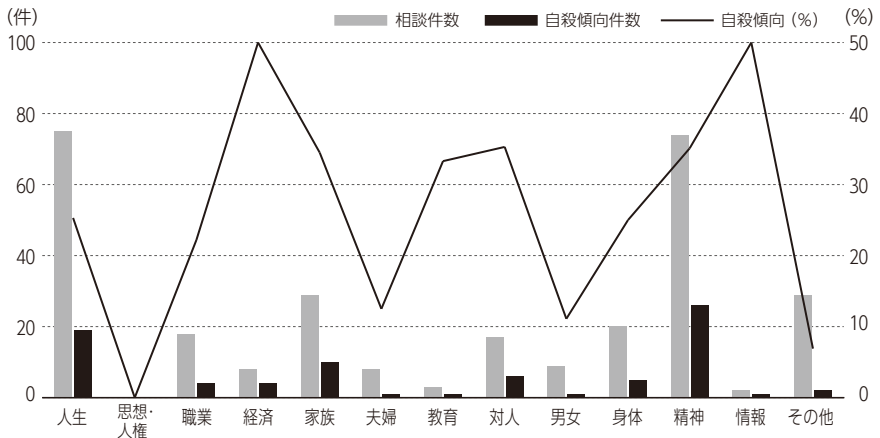
項目	人生	思想・ 人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	総計
相談件数	1,116	30	448	66	894	350	34	683	597	414	1,366	50	484	6,532
自殺傾向件数	137	1	24	9	65	11	2	34	13	23	184	5	8	516
自殺傾向(%)	12.3	3.3	5.4	13.6	7.3	3.1	5.9	5.0	2.2	5.6	13.5	10.0	1.7	7.9

③ 年代別相談件数と自殺傾向件数



項目	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
相談件数	2	374	567	1,030	1,124	1,010	541	65	1,819	6,532
自殺傾向件数	0	9	49	96	108	96	50	9	99	516
自殺傾向(%)	0.0	2.4	8.6	9.3	9.6	9.5	9.2	13.8	5.4	7.9

④ フリーダイヤル内容別相談件数と自殺傾向件数



項目	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	総計
相談件数	75	0	18	8	29	8	3	17	9	20	74	2	29	292
自殺傾向件数	19	0	4	4	10	1	1	6	1	5	26	1	2	80
自殺傾向(%)	25.3	0.0	22.2	50.0	34.5	12.5	33.3	35.3	11.1	25.0	35.1	50.0	6.9	27.4